

特集

・第1回 高崎問屋街大感謝祭

・古代都市は多胡の羊の夢を見るか? ~多胡碑~

・便利さと至高の肌ざわりを体感してみませんか?

・マスクのキャンペーン終了しました

・新聞にまつわる記念日

企画:頭の体操

第1回 高崎問屋街大感謝祭

早いものでもう二月となりました。先月には積もるほどの雪も降り、厳しさを増す寒さに体調を崩さぬよう日々気をつけております。

さて、先月号でもご案内いたしましたとおり、2月24日(土)に第1回高崎問屋街大感謝祭が開催されます。直前になって慌てないように早め早めの準備を心がけておりますが、実際に準備を進めていますと日が過ぎていくことに焦りを感じてしまいます。先月号では花粉症対策にマスクなどをご案内いたしました。今月はその他のことについてご案内いたします。

当社では一昨年よりウォーターサーバーのレンタルを始めました。冷たいお水と、熱いお湯がすぐに使える環境はなかなか便利なもので、朝などは時間を有効に使うことができます。私はインスタントコーヒー派なのですが、ちょうど飲み頃のお湯が出てくるため重宝しております。このウォーターサーバーのレンタルのご案内ができるようブースを設ける予定です。興味はあるけど時間がなくて話ができない、チラシよりも詳しい話を聞きたいなど、なんでもけっこうですのでぜひお立ち寄りください。

昨年より個人宅への自社便での宅配も始めました。トイレットペーパーやボックスティッシュなど、普段

のお買い物では敬遠されがちな嵩張るもの、ビニール袋やお米など重くて持ち運びが大変なものなどを取り扱っております。お米は「川場村産コシヒカリ 雪ほたか」のご案内もできます。この「雪ほたか」、取り扱っている米屋さんに限られているため、ご存じない方もいらっしゃるかと思っておりますので少し説明させていただきますと、日本百名山の一つ武尊山より湧き出るミネラルたっぷりの天然水と、生産者の丁寧な管理により、大切に育てられているお米です。そのため、生産量が多くないので「幻のお米」として、生産者の縁故関係者のみで食べられていました。また、平成16年以来、宮中において天皇・皇后陛下の拝謁を許され新穀を献上することも有名です。価格も決してお安くはないのですが、2kgのものもごございますのでお試しいただくには量も金額もお手頃と思えます。

会場はビエント高崎 ビッグキューブです。高崎問屋町駅から徒歩で約6分程ですので、駐車場や周りの道路が混むのでちょっと行きづらいな、という方には電車もお勧めです。会場の前には公園もあり、芝生の上を歩くのはアスファルトばかりの現在からするとなかなか楽しいものです。お散歩がてらちょっと覗いてみるか、というくらいのお気軽さでご来場いただければ幸いです。

(た)



古代都市は多胡の羊の夢を見るか？ ～多胡碑～

「上毛かるたの『む』といえど？」

群馬育ちならば、多くの方が即座に答えられるでしょう。「昔を語る多胡の古碑」と。

今回はそちら、上野三碑の中で最も有名であり、「那須国造碑」「多賀城碑」と共に「日本三古碑」の一つにも数えられる、「多胡碑」についての昔話です。

多胡碑があるのは、高崎市吉井町。碑の周辺は現在「いしぶみの里公園」として整備され、隣接する「多胡碑記念館」では多胡碑のほか山上碑・金井沢碑についても関連資料の展示が行われています。

碑が建てられたのは和銅4年(711年)。朝廷からの命令により「多胡郡」が新しく制定された際の、記念碑であると考えられています。

前回「山上碑」のお話でも触れました通り、当時この周辺には大陸からの渡来人や、東北からの蝦夷が計画的に移住してきておりました。また、織物や瓦などの「ものづくり」が計画的に行われていた形跡もみられます。

「多胡郡成立」とはいわば、東国の地に多民族多文化が混じり合う先進工業地帯を築くという、ひとつの国家プロジェクトであったのです。

「多胡郡」の「胡」という字は「異民族」という意味を持つほか、現代の視点から考えると、「えびす」と読んで商売の神様である「恵比寿さま」にも通じます。多様な民族が集まったものづくりに励んだこの地域の名前としてピッタリですね。

さて、この多胡碑。6行80文字が刻まれている中で、もっとも注目を集めているのが2行目にある「羊」という字です。この部分の解釈をめぐるのは、古くから多くの議論と考察が重ねられてきました。「南南西」の方角を示すとの説、動物の羊の飼育が試みられたのではという説。

様々な説のうち、現在もっとも有力かつ地元でも信じられているのが、「羊太夫(ひつじだゆう)」という人物がこの多胡郡を任されたという「人名説」です。そしてこの「羊太夫」の正体についても、碑にもその名が刻まれている朝廷の重臣「藤原不比等(ふじわらのふひと)」本人

であるとの説、朝鮮半島からの渡来人説、中央アジアからの渡来人説、はたまた通説よりはるかに早く渡ってきたキリスト教徒説なんでものまで、これまた多くの説があります。

そんな正体不明の「羊太夫」ですが、地元には次のような「羊太夫伝説」が残されています。

昔々、この地に「羊太夫」という者がいて、「八束小脛(やつかこはぎ)」という空飛ぶ従者に馬を曳かせて都まで毎日通っていた。しかしある日、ほんのいたずら心で八束小脛に生えている羽を抜いてしまい、空を飛べなくなってしまった。突然来なくなった羊太夫を怪しんだ朝廷は、謀反の疑いで軍勢を派遣した。羊太夫は必死に応戦したが敗れ、八束小脛と共に金の蝶となって飛び去った。

一説によれば、多胡碑が建てられた年号「和銅」の由来となった秩父の銅山を発見したのも、羊太夫だと言われています。

さまざまな考察が飛び交う羊太夫伝説。しかし異説の多さはそれだけ、この謎の人物が愛されてきたという証拠でもあります。ご興味のある方は、ぜひお調べになってみてください。

3月には、上野三碑それぞれにおいて、建屋の扉を開放しての一般公開が行われます。例年は1日のみの公開ですが、今年は「世界の記憶」登録を記念して3月9日～11日の3日間の公開です。これまで三碑を見たことがないという方も、是非この機会にご覧ください。(さ)



便利さと至高の肌ざわりを体感してみませんか？

先月号でもご案内いたしました、弊社ではウォーターサーバーのお試しキャンペーンを実施しております。

ウォーターサーバーを使ったことがない方にはピンと来ないとは思いますが、サーバーにウォーターボトルをさし、電源を入れておくだけで、すぐに熱いお湯や冷たいお水を使うことができるのは、なかなか便利なものです。手軽に水分補給ができることで、冬の乾燥対策にも夏の熱中症対策にもなります。またウォーターボトルはリターナブルボトルを使用しているため、使用後のボトルは配達時に回収させていただくため、ペットボトルのように捨てる手間がなくなることも便利な点の一つだと思います。

また、昨年12月より期間限定でウォーターサー

バーをお試しいただいた皆様に、クリネックスの高級ティッシュ『至高』を1箱差し上げております。カタログ販売でもご好評いただいている『至高』の肌ざわりも体感できる、このプレゼントキャンペーンも今月いっぱいとなっております。

ウォーターサーバーの便利さも『至高』の肌ざわりもお試しいただけるこの機会に、ご検討いただければ幸いです。(せ)



マスクのキャンペーン終了しました

去年11月から1月までの3か月開催していただきました「マスクのキャンペーン」も大盛況で終わることができました。数年前まで弊社が『マスク』の取り扱いがあること自体ご存知ないお客様も多かったと思いますが、徐々に浸透しキャンペーン中多くのお客様に購入していただくことができました。弊社のキャンペーンの案内前にまとめ買いをして、ある程度在庫を確保していたお客様もいらしたので、今回はもっと早くにキャンペーンを開催しようと考えております。

キャンペーンは終わってしまいましたが、引き続き『マスク』の取扱いはしておりますし、ま

だまだインフルエンザやノロウイルスは流行しています。咳やくしゃみなどから放出されるウイルスにより感染することもありますので、マスクでしっかり予防していきたいですね。3層構造になっていますので、しっかりとウイルスを含んだ飛沫や花粉から守ってくれます。耳に掛ける紐部分も平紐を採用していますので、長時間着けていても耳が痛くなりにくくなっています。サンプル・金額等は弊社担当営業までお問合せ下さい。よろしくお願い致します。

(s)

頭の体操

言葉遣いの使い方として①、②のどちらが間違っているか、それぞれ間違っている方をお答え下さい。

第1問

- ① お弁当は召し上がりましたか？
- ② お弁当はお召し上がりになられましたか？

第2問

- ① お飲み物は何にいたしますか？
- ② お飲み物は何になさいますか？

解答は次ページです→

新聞にまつわる記念日

2月には「日刊新聞創刊の日」と「夕刊紙の日」の2つの新聞にまつわる記念日があります。

まず、2月21日は「日刊新聞創刊の日」です。これは1872(明治5)年2月21日に、現存する中では最も古い日刊新聞『東京日日新聞(とうきょうにちにしんぶん)』(現在の毎日新聞)が創刊されたことが由来となっています。実際に日本初の日刊新聞は1870(明治3)年に創刊された「横浜毎日新聞」となりますが、他社に吸収合併されたため、現存する中での最古の新聞は「東京日日新聞」となっています。そのためか、毎日新聞社では「日刊新聞創刊の日」については「東京で最初の日刊紙」と表現しています。

次に2月25日は「夕刊紙の日」です。1969(昭和44)年2月25日に、日本初の駅売り専門の夕刊紙『夕刊フジ』が発刊されたことが由来です。『夕刊フジ』の創刊号の1面を飾ったのは、「慎太郎新党躍り出る」の見出しと、石原慎太郎参議院議員(元東京都知事)の若々しい姿だったようです。

夕刊紙とは、夕方にだけ発行される新聞のことで、店頭販売を原則とし、勤務終了後に帰宅するサラリーマンが主な想定読者で、主にタブロイド判で発行されています。タブロ

イド判とは新聞判型のひとつで、サイズはいくつかありますが、日本では、縦406mm×横272mmが主流です。これは普通の新聞の1ページの半分の大きさです。

ちなみに、日本で最初の夕刊が誕生したのは1915(大正4)年の10月10日のことであり、「大阪朝日新聞」と「大阪毎日新聞」が同時に発行を開始していました。日本最初の日刊紙が発売されたのは1870年のことなので、夕刊の方は意外と歴史が浅いのです。

さて、最後に新聞に関する雑学を紹介したいと思います。毎日のように全国で朝と夕方に発行される新聞ですが、紙をどれくらい使っているかをご存知でしょうか? テレビなどで見た事がある方もいらっしゃるかもしれませんが、新聞は巨大な巻いた紙を回転させながら印刷をしています。そのロール状の紙の幅は162.6cmで、長さは何と13.7kmとなり、重さは1本で950kgもあります。この巨大なロール状の紙を、日本全国では朝刊と夕刊をあわせて1日に約8000本を消費しています。1日に使用する新聞紙を全てつなぎ合わせると地球を2周以上する距離になります。

(お)



頭の体操 解答

第1問目の答えは、②です。「お召し上がりになられる」は重複敬語になりますので、間違った使い方になります。他にも重複敬語の例としましては「ご覧になられる」や「お越しになられる」などがあります。

第2問目の答えは、①です。相手に聞く場合、尊敬語の「なさる」を使います。

(S)

スギウラ株式会社

〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代表
027-361-5808
営業1部
027-361-5734
営業2部
027-361-5780

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、疑問などありましたら、ご遠慮なく営業または、下記までお問合せください。

お問合せ
メールアドレス
sg-okamoto
@kamisugiura.co.jp